豊岡市市政経営方針

計画期間　2022 年度～2025 年度　【４年間】

2021年12月

豊　岡　市

は じ め に

市政経営方針は、豊岡市基本構想に基づき、４年間ごとの取組み方針と事業例を示すものです。

前期４年間の市政経営方針では、「小さな世界都市」の目標のもとに、日本中や世界中から知ってもらえるよう地域固有の価値を掘り起こし、高め、発信する取組みを進めてきました。

豊岡市の意欲的・特徴的なこれまでの施策については、継続して取り組んでいきます。

2022 年度から 2025 年度の４年間の中期市政経営方針では、さらに、地域ごとの資源や特性を意識し、新しい産業の開拓や IT 企業誘致の強化、幅広い産業における新たなツーリズムの開拓など雇用の場の創出を目指します。

また、芸術文化観光専門職大学が開校し、新しい豊岡の姿が見えてきました。豊岡演劇祭も始まりました。市民が親しみをもってアーティストと交流する場や、アーティストが地域に溶け込み実践する場づくりなど、市民が文化芸術を身近に感じられる取組みを進めます。

「多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている」姿を目指し、ジェンダーギャップ解消と多文化共生を推進します。併せて高齢者や障がい者、社会的弱者に対する充実した支援を引き続き行い、さまざまな人々に「つながり」ができる取組みを進めます。

市政経営方針に掲げる取組みは、市民、地域、企業、各団体、行政等の多様な主体が参画して成しえます。とりわけ、地域コミュニティ組織における自主的な活動に期待し、引き続き支援します。

豊岡市が世界で輝くための取組みと並行して、自治体の最も重要な責務である市民の暮らしを着実に支える施策（第４章）である子育て支援の充実、若者の声がまちづくりに生かされる仕組みづくり、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進による行政の効率化など、市民の利便性の向上に取り組み、「豊岡に暮らして良かった」と市民が実感できるまちづくりを進めていきます。

2021 年 12 月

豊岡市長　関 貫 久 仁 郎

もくじ

第１章　市政経営方針の位置づけ …… 1

第２章　基本構想戦略体系に基づく取組方針 …… 2

第３章　市政経営方針 …… 4

主要手段１　具体的手段⑴に係る取組方針 …… 4

具体的手段⑵に係る取組方針 …… 6

具体的手段⑶に係る取組方針 …… 8

主要手段２　具体的手段⑴に係る取組方針 …… 12

具体的手段⑵に係る取組方針 …… 14

主要手段３　具体的手段⑴に係る取組方針 …… 18

具体的手段⑵に係る取組方針 …… 20

主要手段４　具体的手段⑴に係る取組方針 …… 24

具体的手段⑵に係る取組方針 …… 26

主要手段５　具体的手段⑴に係る取組方針 …… 30

具体的手段⑵に係る取組方針 …… 32

主要手段６　具体的手段⑴に係る取組方針 …… 36

具体的手段⑵に係る取組方針 …… 38

具体的手段⑶に係る取組方針 …… 40

第４章　市民の暮らしを支える施策の体系・主要施策等 …… 42

第１章　市政経営方針の位置づけ

１　豊岡市基本構想との関係

市政経営方針は、基本構想に定めたまちの将来像「小さな世界都市－Local＆Global City－」を実現するための重点的な政策及びその戦略的な進め方を示す方針です。

市長は、戦略的な市政経営を行うため、４年間の市政経営方針を策定します。

【豊岡市基本構想と市政経営方針との関係性】

豊岡市基本構想※　2018～2029 年度（12 年）

市政経営方針（前期） 2018～2021 年度（4 年）	**市政経営方針（中期）** 2022～2025 年度（4 年）	**市政経営方針（後期）** 2026～2029 年度（4 年）

２　市政経営方針で定めること

市政経営方針は、基本構想の主要手段に記載した状態を達成するための具体的手段について、４年間の取組方針及び事業を例示します。

※　豊岡市基本構想は、まちの将来像並びにその実現のための重点的な課題及び取組みの方向を示す 12 年間の指針であるため、内容の変更は行いません。なお、年号については、市の統一的な表記「西暦（元号）」に改めています。

第２章　基本構想戦略体系に基づく取組方針

長期目標
命への共感に満ちたまち
（イメージ…みんなが幸せを感じられるまちになっている）

戦略目的（中間目標）
小さな世界都市　- Local＆Global City -
ローカルであること、地域固有であることを通じて世界の人々から尊敬され、尊重されるまち

主要手段１　自然との共生が徹底されている

具体的手段(1)　災害に備え、地域の防災力が高まっている

取組方針
- ア 市民が過去の大災害の教訓や豊岡の地理的な特性を知っている
- イ 世代間・地域内交流により災害に強いコミュニティが形成されている
- ウ 災害に備えた行動や訓練が実践されている

具体的手段(2)　自然と折り合う暮らしがまちに根付いている

取組方針
- ア 市民が豊岡の自然再生活動や脱炭素社会の必要性を理解している
- イ 市民、地域、企業、団体等が環境に配慮した活動を積極的に実践している
- ウ 地域資源の地産地消や再生可能エネルギーの利用が進んでいる

具体的手段(3)　環境と経済の共鳴が広がっている

取組方針
- ア 豊岡型地産地消、豊岡型環境創造型農業が拡大している
- イ 環境経済型企業の集積が進んでいる

主要手段２　地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている

具体的手段(1)　伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている

取組方針
- ア 地域固有のもの（こと）に価値があることが認識されている
- イ 地域資源の価値が高まっている
- ウ 地域資源の価値の保全や再生の活動が活発になされている

具体的手段(2)　地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている

取組方針
- ア 市民が「豊岡のローカル」に誇りを持ちながら主体的にツーリズムに関わっている
- イ 市内の幅広い産業が、新たなツーリズムやマーケットを創出している
- ウ 豊岡に共感し、あこがれや愛着を抱く人が増えている

主要手段３　優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんでいる

具体的手段(1)　優れた文化芸術に身近に触れられる環境が整っている

取組方針
- ア 市民が優れた文化芸術を暮らしの中で楽しんでいる
- イ 文化芸術活動を応援する風土が根づいている

具体的手段(2)　文化芸術による交流が盛んになっている

取組方針
- ア 地域の伝統文化が守られ、活かされている
- イ 文化芸術と観光がつながり、まちの魅力が高まっている

主要手段４　多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている

具体的手段(1)　多様性がまちの原動力になっている

取組方針
- ア　多様性の価値が理解されている
- イ　まちづくりや経済活動の中で多様な人々が生き生きと活動している

具体的手段(2)　さまざまなつながりの中で、それぞれの役割が果たされている

取組方針
- ア　つながりを創る人や多様な活動が増えている
- イ　つながりを醸成する場が増えている

主要手段５　内発型の地域産業がすくすくと育っている

具体的手段(1)　地域産業が切磋琢磨し、新たな道を切り拓いている

取組方針
- ア　市内産業・企業の安定と強化が図られている
- イ　果敢なチャレンジやステップアップにより、産業・企業が成長している
- ウ　新たなビジネスモデルを展開する企業や、起業・創業する人が増えている

具体的手段(2)　豊岡ブランドが構築されている

取組方針
- ア　地域固有の産業の魅力が高まっている
- イ　豊岡にいながら世界から評価される商品・技術・サービスを提供する企業が増えている
- ウ　豊岡固有の産業や商品・技術・サービスが国内外に認知されている

主要手段６　子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている

具体的手段(1)　子どもたちが豊岡のことをよく知っている

取組方針
- ア　学校園でのふるさと教育が充実している
- イ　地域での遊びや体験を通じてふるさとへの愛着が増している

具体的手段(2)　子どもたちがさまざまなコミュニティの中で役割を果たしている

取組方針
- ア　子どもたちの活躍の場やそれを支える人材が増えている

具体的手段(3)　子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる

取組方針
- ア　子どもたちが多様な人々とコミュニケーションできる力を育んでいる

　この表のうち、基本構想には、長期目標、戦略目的（中間目標）、主要手段及び具体的手段を階層的に記載しており、市政経営方針では、さらにその下の階層となる４年間の取組方針及び事業例を記載しています。

第３章　市政経営方針

基本構想

主要手段１　自然との共生が徹底されている

具体的手段(1)　災害に備え、地域の防災力が高まっている

我が国は災害列島と呼ばれ、毎年のように各地で大災害が起きています。そのことを認識し、自然災害に対する危機意識を高めなければなりません。

私たちは、2004（平成 16）年の台風 23 号をはじめとする過去の災害の教訓を踏まえ、「みんなの力で命と暮らしを守る」ことを理念に、防災・減災対策に取り組んでいます。災害の規模が大きくなるほど、自主防災組織など地域の人々の協力（共助）が大きな力を発揮します。そのた

市政経営方針

■取組方針

自然をいたずらに力で押し込めようとするのではなく、自然を理解し、畏れ、恵みに感謝する基本姿勢に立って、「賢く逃げる」態度と習慣を養います。

ア　市民が過去の大災害の教訓や豊岡の地理的な特性を知っている
イ　世代間・地域内交流により災害に強いコミュニティが形成されている
ウ　災害に備えた行動や訓練が実践されている

＊自然災害への備えとして国や県の治水事業等ハード整備を要望し、促すことは、今後も当然のこととして進めていくため、あえて市政経営方針には記載していません。

地域コミュニティで行われている防災ワークショップ

10.20 メモリアルデー防災・減災授業

めには、日頃から地域の自主防災活動や近所同士の関わり合いが大切です。
災害は必ず起きることをリアルに想定し、減災の考え方に立ち、自助、共助、公助により、まち全体の災害対応能力を高めていきます。

ア　市民が過去の大災害の教訓や豊岡の地理的な特性を知っている

北但大震災や2004（平成16）年の台風23号などの災害から得た知識・教訓を将来起こりうる災害に活かすとともに、継続的な学習や活動を通して防災意識を高め、災害に強い地域づくりを進めます。
また、自然地形特性や生態系など地域固有の条件を踏まえ、治山・治水対策などの減災対策を地域と協働でさらに進めます。

【４年間の事業例】
- ○防災学習会等を通じて、過去の大災害を風化させない取組みを全世代で進めます。
- ○防災まち歩き、防災ワークショップを通じて、住民間での災害リスクの共有を図ります。
- ○地域における防災学習や訓練を通じて、経験者から災害の教訓を学ぶ機会をつくります。

等

イ　世代間・地域内交流により災害に強いコミュニティが形成されている

災害発生時における地域での支えあい・助けあいの心を育むため、日頃から世代間交流や地域内交流を促し、主体的に行動できる災害に強いコミュニティを形成します。
また、女性の視点を取り入れることは重要であり、地域の防災分野での女性参画を推進します。

【４年間の事業例】
- ○住民主体の防災ワークショップや独自訓練の取組み強化を進めます。
- ○市民総参加訓練や出前講座、防災ワークショップを通じて、避難行動要援護者の支援を目的とした共助力の向上を図ります。
- ○女性の「ひょうご防災リーダー講座」の受講を促進します。

等

ウ　災害に備えた行動や訓練が実践されている

災害が起きたときに、まず、自分と家族の命は自分たちで守る（自助）ことを目的とした取組みを行います。そして、自主防災組織に対し、自助力向上の実践を踏まえたうえで、チーム（共助）としての活動に取り組むよう促します。
また、次世代を担う子どもたちの防災・減災教育の取組みを支援し、防災・減災についての認識を深めるとともに、生命の尊さや助け合うことの大切さを学び、自分の命は自分で守る児童生徒を育成します。

【４年間の事業例】
- ○マイ避難カードや避難行動要援護者個別支援計画の作成を支援します。
- ○自主防災組織の活動の活性化と自助の取組み強化を進めます。
- ○学校教育現場における防災・減災授業を継続するとともに、家庭・地域・専門機関と連携した体験型の防災教育を充実させます。

等

基本構想

市政経営方針

主要手段１　自然との共生が徹底されている

具体的手段(2)　自然と折り合う暮らしがまちに根付いている

私たちは、一度は日本の野外で絶滅したコウノトリをシンボルに、「コウノトリも住める豊かな環境をつくる」取組みを進めてきました。

コウノトリ育む農法や湿地再生事業などの取組みにより、コウノトリが飛び交う風景を取り戻すことができました。その取組みは、世界でも稀な成功例として評価を受けています。しかし、豊かな自然環境を取り戻すには、なお長い時間とエネルギーが必要です。

環境問題は、単に社会や経済の構造だけではなく、人々のライフスタイルにも起因しています。

私たちは、自然との触れ合いを楽しみながら、本市の自然環境に適合したまちづくりとライフ

■取組方針

生物の多様性、生態系の保全・再生は、豊かな生活をもたらすとともに、自然の力による防災・減災にもつながります。地域の安全とコウノトリと共に生きる自然豊かなまちを目指し、自然の保全・再生や脱炭素社会の実現に向けた取組みを強力に進めます。

ア　市民が豊岡の自然再生活動や脱炭素社会の必要性を理解している
イ　市民、地域、企業、団体等が環境に配慮した活動を積極的に実践している
ウ　地域資源の地産地消や再生可能エネルギーの利用が進んでいる

山宮ソーラーパネル

スタイルを確立する取組みをさらに積極的に進めていきます。

ア　市民が豊岡の自然再生活動や脱炭素社会の必要性を理解している

コウノトリ野生復帰、自然環境、脱炭素社会について学び体験できる機会を提供し、市民が生物多様性や地球環境を意識した暮らし方について理解を深める取組みを進めます。

また、自然環境、脱炭素社会に適合した暮らし方、生活習慣についても学ぶ機会を提供し、市民が豊岡の自然再生の実践や脱炭素社会の実現についての理解を深める取組みを進めます。

【４年間の事業例】
- 〇環境教育の充実、生きもの調査の実施、自然観察会の実施を支援します。
- 〇ラムサール条約登録エリアでの交流や学習を推進します。
- 〇脱炭素フォーラムやセミナーなど、脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めます。

等

イ　市民、地域、企業、団体等が環境に配慮した活動を積極的に実践している

市民をはじめ、地域や企業等が環境問題解決のために各々が担う役割を理解し、行動に移すことを目指します。また、環境に配慮した活動への支援、協力に努め、実践を進めます。

【４年間の事業例】
- 〇小さな自然再生保全等の活動を支援します。
- 〇「豊岡自然再生アクションプラン」に基づき、モデル地区での実践を重ねます。
- 〇使い捨てプラスチックごみの排出量を減らします。

等

ウ　地域資源の地産地消や再生可能エネルギーの利用が進んでいる

資源は限りあることを市民一人ひとりが認識し、資源や再生可能エネルギーの地産地消を念頭におき、持続可能な地域資源の利用を促進します。

【４年間の事業例】
- 〇太陽光発電等の再生可能エネルギーの利用を進めます。
- 〇農林水産物や再生可能エネルギーの地産地消に取り組みます。
- 〇畜産と耕種の連携を進めます。

等

基本構想

主要手段１　自然との共生が徹底されている

具体的手段(3)　環境と経済の共鳴が広がっている

私たちは、環境を良くする取組によって経済が活性化し、経済の活性化が誘因となって環境を良くする取組みがさらに広がる、環境と経済が共鳴する関係を環境経済と名付け、その実践を広げる「環境経済戦略」に取り組んできました。

この戦略は、①環境を良くする取組み自体の持続可能性を確保し、②地域の経済的自立を図り、③自らの誇りにつなげることを狙いとしています。

世界各地で環境保全活動が経済的利益と衝突し、ときに挫折する中で、本市の環境経済戦略の取組みは、世界のモデルとなる可能性を持っています。

市政経営方針

■取組方針

「環境経済戦略」の５つの柱である①豊岡型地産地消の推進、②豊岡型環境創造型農業の推進、③コウノトリツーリズムの展開、④環境経済型企業の集積、⑤自然エネルギーの利用促進を引き続き推進します。また、SDGs※1 や ESG※2 への取組みや、経済活動のあらゆる場面で環境負荷軽減を考え、実行する企業を応援します。

ア　豊岡型地産地消、豊岡型環境創造型農業が拡大している
イ　環境経済型企業の集積が進んでいる

※1　SDGs（エス･ディー･ジーズ）
Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）のこと。2030 年までに世界が達成すべき目標として、2015 年９月に国連で採択された。

※2　ESG
Environment（環境）、Social（社会）、Governance（企業統治）のこと。持続可能な世界の実現のために、企業の長期的成長に重要な３つの観点。

今後も、市民、地域、企業、団体、行政のさまざまな主体がお互いに知恵を出し合い、協働しながら、この取組みを強力に推進し、豊かな環境の保全と経済活性化の両立に挑戦していきます。

ア　豊岡型地産地消、豊岡型環境創造型農業が拡大している

豊岡の企業・生産者が作った「もの・サービス」を市内で消費・利用することにより、市内での事業活動を支えます。

また、農薬や化学肥料に頼らず、多様な生きものを育む農業を進めます。

【４年間の事業例】

〇市内観光地と連携し、豊岡産の商品・サービスの消費・利用を進めます。

〇農林水産物の地産地消に取り組みます。

〇コウノトリ育む農法の面積拡大、取組みを発信し販売拡大を進めます。

等

イ　環境経済型企業の集積が進んでいる

環境負荷軽減活動により利益を生み出す事業者を増やします。

【４年間の事業例】

〇「環境経済事業」認定事業者に対して、新技術開発や販路拡大を支援します。

〇環境経営セミナーを通じて、企業に環境経営に関するノウハウを提供します。

等

主要手段１　自然との共生が徹底されている

目標値

具体的手段(1)　災害に備え、地域の防災力が高まっている

評価指標	現状値（2020年度）	目標値（2025年度）
年１回以上の訓練実施区・町内会の割合	75.5%（271 区）	100.0%（359 区）
自主防災組織結成率	88.9%（319 区）	100.0%（359 区）
区・町内会での避難行動要援護者個別支援計画の策定状況（作成が必要な全ての区に対する策定済みの区の割合）	39.6%（72 区）	100.0%（182 区）

具体的手段(2)　自然と折り合う暮らしがまちに根付いている

評価指標	現状値（2020年度）	目標値（2025年度）
小さな自然再生保全活動支援助成団体数	3件	15件
生きもの調査、環境教育等実施件数	22件	50件
太陽光発電システム設置補助件数（累計）	住宅用　806件 事業者用　0件	住宅用　1,030件 事業者用　50件

具体的手段(3)　環境と経済の共鳴が広がっている

評価指標	現状値（2020年度）	目標値（2025年度）
環境経済認定事業数（累計）	75 事業	100 事業
事業者用太陽光発電システム設置補助件数（累計）	0 件	50 件

関連データ

■北但大震災（北但馬地震）における被害状況　　1925（大正 14）年

地　域	全　焼	全　壊	半　壊	破　損	死　者	負傷者
豊　岡	1,137 戸	724 戸	588 戸	2,148 戸	136 人	581 人
城　崎	575 戸	61 戸	56 戸	167 戸	283 人	211 人
竹　野	—	31 戸	72 戸	593 戸	—	—
日　高	—	5 戸	23 戸	—	—	—
出　石	—	5 戸	200 戸余	—	1 人	—
但　東	—	—	—	12 戸	—	—
合　計	1,712 戸	826 戸	939 戸余	2,920 戸	420 人	792 人

資料：市防災課

■戦後の代表的な水害

年月日	洪水要因	流域平均 ２日雨量	最高水位 （立野）	浸水戸数
1959（昭和 34）年　９月 26 日	伊勢湾台風	253㎜	7.42m	16,833 戸
1961（昭和 36）年　９月 15 日	第二室戸台風	184㎜	6.87m	1,933 戸
1965（昭和 40）年　９月 10 日	台風 23 号	233㎜	6.86m	7,788 戸
1976（昭和 51）年　９月 10 日	台風 17 号	322㎜	6.92m	3,022 戸
1979（昭和 54）年 10 月 19 日	台風 20 号	211㎜	6.74m	1,016 戸
1990（平成　２）年　９月 20 日	秋雨前線・台風 19 号	364㎜	7.13m	2,508 戸
2004（平成 16）年 10 月 20 日	秋雨前線・台風 23 号	278㎜	8.29m	7,944 戸

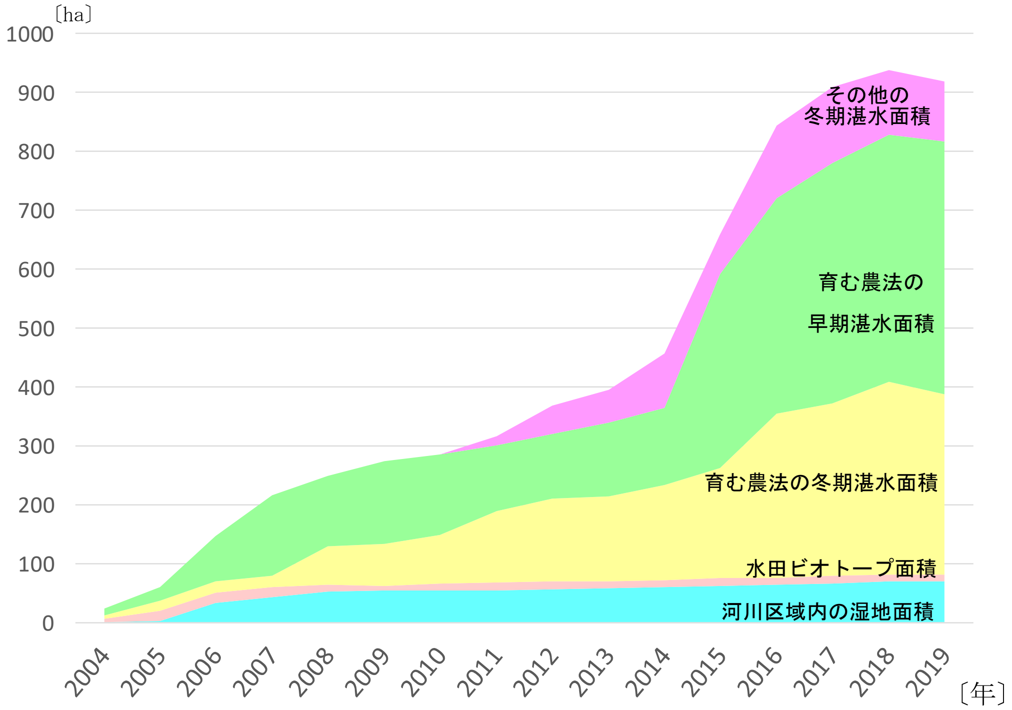
注）流域平均２日雨量（資料：円山川河川整備計画(2013（平成 25）年３月近畿地方整備局)）
注）浸水戸数は、旧豊岡市、旧城崎町、旧日高町、旧出石町の合計数値。2004（平成 16）年台風 23 号時の浸水戸数は、合併後の豊岡市の合計数値。（資料：国土交通省豊岡河川国道事務所「明日へ生かそう！地図が伝える水害体験」）

■台風 23 号における被害状況　　2004（平成 16）年

地　域	人的被害				住家被害															
	死者	行方不明者	負傷者		全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊		床上浸水						床下浸水	
			重傷	軽傷	損害割合 50%～		損害割合 40%～50%		損害割合 20%～40%				小計		損害割合 10%～20%		損害割合 ～10%			
	人	人	人	人	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯
旧豊岡市	1	―	19	27	231	396	849	866	2,081	2,358	200	200	278	309	218	244	60	65	2,208	2,394
旧城崎町	―	―	―	―	1	1	6	6	139	148	21	21	125	137	68	80	57	57	311	348
旧竹野町	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	11	11	5	5	―	―	5	5	23	23
旧日高町	2	―	3	―	55	64	143	143	287	287	8	8	66	66	42	42	24	24	475	475
旧出石町	2	―	1	1	34	62	77	83	130	137	21	21	53	55	35	37	18	18	145	149
旧但東町	2	―	―	―	12	7	7	6	14	13	31	31	18	15	9	6	9	9	164	154
合　計	7	0	23	28	333	530	1,082	1,104	2,651	2,943	292	292	545	587	372	409	173	178	3,326	3,543

資料：市防災課

■生物多様性に配慮した湿地環境の整備



資料：市農林水産課、コウノトリ共生課

主要手段２　地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている

具体的手段(1)　伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている

グローバル化の進展で、世界は急速に同じ顔になりつつあります。逆にローカルであること、地域固有であることが世界で輝くチャンスにつながります。

また、グローバル化の進展により、世界は急速に小さくなりつつあります。インターネットの発達などによって、本市のような小さなまちでも、世界の人々と直接つながることが可能になってきました。

私たちは、1925（大正 14）年の北但大震災で壊滅的な被害に遭った城崎温泉の復興に当たり、再び木造三階建ての町並みを復活させてきました。また、出石の伝統的建造物群保存地区の取組

■取組方針

受け継いだものを守り、新しい工夫を付け加え、次へと引き渡していく、「蓄積」を基本としたまちづくりを進めます。

絶えず世界を意識しながら、豊岡固有の価値を再認識し、世界に通用するローカルを磨いていきます。

ア　地域固有のもの（こと）に価値があることが認識されている
イ　地域資源の価値が高まっている
ウ　地域資源の価値の保全や再生の活動が活発になされている

焼き杉板の町並み（竹野）

みを進め、近年では、近畿に現存する最古の芝居小屋「出石永楽館」を復活させてきました。
　地磁気逆転という地球科学上の大発見がなされた玄武洞を拠点とする山陰海岸ジオパーク、竹野の焼き杉板の町並みやジオカヌーの取組み、日高における神鍋高原や植村直己の精神を引き継ぐ冒険教育の取組み、但東の美しい田園景観や安国寺・ドウダンツツジなどが、まちの大きな魅力となり、国内外から多くの来訪者を迎えています。
　世界で輝く資源とチャンスは、私たちの足元にあり、世界に通用する質の高い「ローカル」を磨いていきます。

ア　地域固有のもの（こと）に価値があることが認識されている

地域固有の歴史、伝統、文化が、重要な地域資源であることを、市民が認識できる取組みを進めます。

【４年間の事業例】
- ○ふるさと教育と連携し、次世代に継承する取組みを進めます。
- ○地域の歴史などを知る出前講座等を地域や学校で実施します。
- ○地区コミュニティセンター等で、歴史・文化資料の出張展示や各地域の歴史調査の公表を行います。

等

イ　地域資源の価値が高まっている

今ある資源に工夫を加えることにより、世界に通用する質の高い「ローカル」へと磨きをかけます。

【４年間の事業例】
- ○地域の伝統的な町並みを保存する取組みを進めます（例：竹野の焼き杉板の町並み保存）。
- ○国指定などの史跡が、市民にとってはふるさとの誇りや憩いの場となり、また、来訪者にとっては歴史を体感できる場となるよう整備を進めます。

等

ウ　地域資源の価値の保全や再生の活動が活発になされている

伝統的な町並みなどの保全や再生を行うことで、まちの活性化につながる取組みを進めます。

【４年間の事業例】
- ○町並みなどを保全・再生する団体等の活動を支援します。

等

基本構想

主要手段２　地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている

具体的手段(2)　地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている

インバウンドの増加の中で、名所旧跡のみならず、その地の人々にとって「普通」の景観や暮らしぶりが人々を惹きつけるようになっています。私たちは、自然、歴史、伝統、文化など受け継いできたものの中に、新たな資源を見出すことができるはずです。

個々の資源は、つながることにより新たな価値を生みだすことができます。

来訪者の市内での滞在日数と時間を増やすためにも、地域固有の資源をさらに磨き、つながりを強化することは極めて有効な方策です。

官民共同で設立した一般社団法人豊岡観光イノベーションを中心に、市内外の事業者や組織

市政経営方針

■取組方針

「豊岡のローカル」※を核とした新しいツーリズムを生み出すとともに、来訪者が、市民や市内の事業者など幅広い人々と交流することにより、豊岡への共感や関係性を軸に、何度も訪れ、長く滞在してもらうことを目指します。

ア　市民が「豊岡のローカル」に誇りを持ちながら主体的にツーリズムに関わっている
イ　市内の幅広い産業が、新たなツーリズムやマーケットを創出している
ウ　豊岡に共感し、あこがれや愛着を抱く人が増えている

※豊岡のローカル
豊岡の歴史や風土などに根ざした環境や文化、また、ライフスタイルなどを指す。

とも連携し、市内にあるさまざまな資源を発掘し、組み合わせ、まちの魅力を世界へと発信していきます。

ア　市民が「豊岡のローカル」に誇りを持ちながら主体的にツーリズムに関わっている

市民と来訪者の交流を促す仕組みをつくります。

【４年間の事業例】
○市民が自発的に交流に関わるモチベーションを高めるため、コンシェルジュ認定などに取り組みます。
○豊岡演劇祭などを通じて、来訪者と市民の交流の場を作り、交流の活性化を図ります。
等

イ　市内の幅広い産業が、新たなツーリズムやマーケットを創出している

市内の幅広い事業者が、「ツーリズム」に関わることを促します。

【４年間の事業例】
○市内の事業者を対象とした事業者交流会などを実施します。
○「豊岡のローカル」を活用した体験プログラム、着地型ツアーを販売する WEB サイトを強化します。
等

ウ　豊岡に共感し、あこがれや愛着を抱く人が増えている

豊岡への共感や、関係性につながる情報発信の仕組みを作ります。

【４年間の事業例】
○来訪者心理に寄り添った情報発信を行うために、豊岡観光ＤＸ事業を推進します。
○国内外に向けた WEB・SNS マーケティングに取り組みます。
○メディアや旅行会社等との関係性を構築・強化しつつ、ニーズやトレンドを捉えた情報発信を行います。
等

主要手段２　地域の歴史、伝統、文化が守られ、新しい工夫が加わり、引き継がれている

目標値

具体的手段(1)　伝統的な町並みなどが大切にされ、活用されている

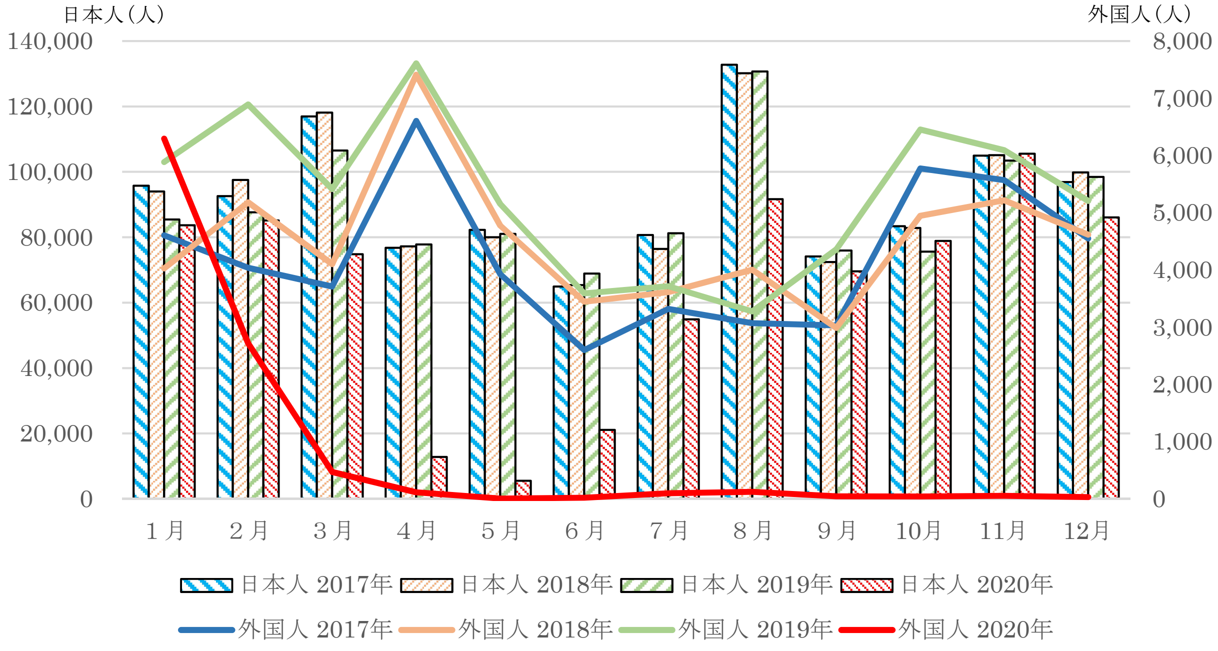
評価指標	現状値（2020年度）	目標値（2025年度）
地域の歴史、伝統、文化を「わが町の誇りだ」と感じる人の割合	45.4%	50.0%
地域固有の歴史・伝統・文化等に関する出前講座参加者数	242 人	280 人

具体的手段(2)　地域の資源が発掘され、つながり、連携が強まっている

評価指標	現状値（2020年度）	目標値（2025年度）
市外の人に、豊岡市を、訪れる価値のあるまちとして勧めたいと思う市民の割合	55.8%	60.0%
外国人延べ宿泊者数	63,648 人（2019 年）	87,800 人
日本人延べ宿泊者数	1,037 千人（2019 年度）	1,115 千人

関連データ

■市内宿泊数の推移（単位：人）



出典：大交流課資料（宿泊施設への聞き取り、入湯税から算出）

神鍋山頂でのヨガ体験（新たなツーリズム）

主要手段３　優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんでいる

具体的手段(1)　優れた文化芸術に身近に触れられる環境が整っている

基本構想

城崎国際アートセンターには国内はもとより、世界中から優れたアーティストが滞在制作を目的に続々とやってくるようになりました。

出石永楽館では毎年永楽館歌舞伎が上演されて好評を博しています。

「子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭（おんぷの祭典）」は、市民と行政が協働して世界で活躍する音楽家を招き、子どもたちに優れた音楽に触れる機会を提供する取組みとして定着しつつあります。子どもたちが文化芸術のセンスを身に付けることは、豊かに生きていくうえで極めて重要です。

市政経営方針

■取組方針

音楽、演劇、舞踊、映画、伝統芸能、アニメーション等の文化芸術は、人々に感動や生きる喜びをもたらし人生を豊かにし、市民生活を活性化するうえで大きな力となるとともに、異なる価値観や文化背景などを越えて人々の心を打つ普遍性を持っています。

市民が主人公となり、文化芸術、地域の伝統芸能などを生き生きと楽しむとともに、市民が優れた文化芸術に身近に触れられる環境を整えます。

ア　市民が優れた文化芸術を暮らしの中で楽しんでいる
イ　文化芸術活動を応援する風土が根づいている

市民の心の豊かさやまちの魅力を高めるため、アーティストを積極的に受け入れ、文化芸術を創造し、誰もが文化芸術に気軽に触れ合い、楽しむことができるまちを創り上げていきます。

ア　市民が優れた文化芸術を暮らしの中で楽しんでいる

文化芸術は、市民の日々の暮らしを心豊かで生き生きとしたものにし、まちの魅力を高め、人々を惹きつけるなど、まちづくりに大きな役割を果たす力を持っています。

市民が国内外の多様な優れた文化芸術に身近に触れられる環境や機会づくりに努めます。

【４年間の事業例】

〇子どもたちをはじめ市民誰もが優れた文化芸術に触れられる機会をつくります。

〇優れたアーティストを講師とした文化芸術の体験機会を提供します。

〇文化芸術の価値を共創するため、周辺自治体等とさらなる連携を図ります。

等

イ　文化芸術活動を応援する風土が根づいている

豊岡の文化芸術に対する取組みに共感し移住してきたアーティストなどと触れ合える機会をつくります。

また、アーティストなどが、地域に溶け込み実践し活躍できる場づくりを支援することで、市民が文化芸術活動を応援する風土を着実に根づかせ、誰もが居心地のよい空間を整えます。

【４年間の事業例】

〇「豊岡演劇祭」をはじめとした文化芸術事業への市民参画を促進します。

〇市民がアーティストと交流する場をつくります。

〇芸術文化観光専門職大学と連携し、市民と大学の協働と交流を進めます。

〇豊岡市アーティスト・クリエーター移住等促進戦略を推進します。

等

基本構想

主要手段３　優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんでいる

具体的手段(２)　文化芸術による交流が盛んになっている

文化芸術と観光は、親和性が高いと言われています。

城崎では、演劇、ダンスなどの舞台芸術と観光を融合させた世界最先端のパフォーミングアーツ・ツーリズムの取組みが始まり、永楽館歌舞伎も全国から人々を集めています。

また、私たちのまちには、古くから受け継がれてきた伝統芸能、祭などの伝統行事があり、人々を惹きつける大きな魅力となりえます。

観光は、まちと来訪者との総合コミュニケーションであり、優れた文化芸術は、まちのコミュニケーション能力を高め、まちの魅力を向上させます。

市政経営方針

■取組方針

国内、世界各地から、豊岡の文化を楽しむために人々がやってきます。訪れる人々とこの地の人々や自然・歴史・伝統など地域固有のものの交流が、市民生活に潤いと活性化をもたらします。

豊岡にしかない、豊岡でしか体験できない文化資源が持つ魅力を磨きあげ、さらに多くの人々の来訪を促し、交流を盛んにします。

ア　地域の伝統文化が守られ、活かされている
イ　文化芸術と観光がつながり、まちの魅力が高まっている

文化芸術と観光の融合による交流人口の拡大を図りながら、大交流の実現をめざしていきます。

ア　地域の伝統文化が守られ、活かされている

市民が長い時間をかけて守り続けてきた伝統文化が、次世代へ大切に引き継がれていくよう取り組みます。

伝統文化の中には、都市部に住む人々や訪日外国人等に、新鮮で魅力的なものとして捉えられる可能性を秘めたものもあるため、それらをさらに磨きあげ、交流の促進につなげていくことで、地域の活性化とまちの魅力向上を図ります。

【４年間の事業例】

〇地域の貴重な伝統文化（芸能、祭事など）の魅力を国内外に発信します。

〇地域固有のまつりなどで地域内外の人々の交流を促進します。

等

イ　文化芸術と観光がつながり、まちの魅力が高まっている

文化芸術には、人と人のつながりを生み出し地域を活性化するとともに、大きな集客につながる力があります。

市民が文化芸術に触れ、理解を深められる機会を充実させるとともに、地域のさまざまな文化資源に新たな価値や工夫を加えて磨きあげ、まちの魅力そのものの向上を図ることで、国内外からの観光客のさらなる来訪を促す好循環を生み出します。

【４年間の事業例】

〇「永楽館歌舞伎」や「豊岡演劇祭」の開催などを通じ、文化資源の活用を進めます。

〇文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業を推進し、文化芸術の情報発信と理解促進に努めます。

〇アーティストと市民の交流を通じ、地域の魅力の再発見やにぎわいの創出を図ります。

等

主要手段３　優れた文化芸術が創造され、人々が楽しんでいる

目標値

具体的手段(1)　優れた文化芸術に身近に触れられる環境が整っている

評価指標	現状値 (2020年度)	目標値 (2025年度)
豊岡市を文化芸術の盛んなまちだと思う人の割合	22.6%	30.0%
質の高い文化芸術に気軽に触れられる機会が多いまちだと思う人の割合	16.5%	20.0%
豊岡市で活動するアーティストやクリエーターを応援したいと思う人の割合	43.1%	50.0%

具体的手段(2)　文化芸術による交流が盛んになっている

評価指標	現状値 (2020年度)	目標値 (2025年度)
アーティスト・クリエーター移住者数	16人	35人増 (５年間)

関連データ

■アーティスト・イン・レジデンス応募と採択の状況

年度	応募		採択	
	団体数	国	団体数	国
2016 年度	40 団体	13 カ国	17 団体	7 カ国
2017 年度	43 団体	8 カ国	20 団体	5 カ国
2018 年度	94 団体	25 カ国	16 団体	8 カ国
2019 年度	68 団体	20 カ国	19 団体	6 カ国
2020 年度	80 団体	23 カ国	17 団体	6 カ国

資料:城崎国際アートセンター資料

芸術文化観光専門職大学

豊岡演劇祭におけるナイトマーケット

主要手段４　多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている

具体的手段(1)　多様性がまちの原動力になっている

基本構想

本市は、障がいの有無、性別、年齢差、国籍の違い、価値観・文化・習慣の違いなど、多様な人々から成っています。その傾向は、グローバル化の進展の中で、今後さらに急速に進んでいきます。私たちは、命への共感に基づき、その違いを受け入れ、理解し、ともに生きていく努力を重ねる必要があります。

違いを受け入れ、ともに暮らしていくことは、必ずしも容易なことではありません。

私たちは、コウノトリ野生復帰の取組みを進めるにあたり、異なった意見を持つ人々との対話を重ね、お互いの立場を理解したうえで粘り強く議論を重ね、再びコウノトリを大空に帰すこと

市政経営方針

■取組方針

女性、高齢者、障がい者や外国人等の多様な人々が、地域社会や地域経済の担い手として期待され、現に活躍するまちづくりを進めます。

とりわけ、ジェンダーギャップの解消の推進、多文化共生の推進など、地域社会と地域経済において「多様性を受け入れ、互いに支え合うまち」へと、まちづくりの舵を切っていくことは喫緊の課題でもあります。

ア　多様性の価値が理解されている
イ　まちづくりや経済活動の中で多様な人々が生き生きと活動している

ができました。環境経済戦略は、環境と経済の対立を克服するものとして考案されました。
まちや組織の中に多様な人々がいて、対話を通じて共感を育みながら違いを乗り越えていく習慣がまちの中に根付けば、まちや組織の活力となります。
同時に、多様性の存在は、社会経済の急激で劇的な変化が予測される中にあって、まちや組織の適応力を確保するうえで不可欠な要素となります。
互いの存在を当然のこととして大らかに受け入れ、折り合いをつけながら共生するまちを教育、社会、経済、文化などの活動の中で築いていきます。

ア　多様性の価値が理解されている

多様な人々が互いを理解しコミュニケーションを深めることで、さまざまな視点や知識が生かされ、まちの課題を解決する能力も高まります。市民が多様性を理解し受け入れる社会をめざします。

【４年間の事業例】
- ○多様な他者を理解する市民を増やすため、ジェンダーギャップの解消、多文化共生等の多様性の視点を入れた協働研修や啓発を行います。
- ○小中学校で意見の異なった人の話を聞く力を子どもの頃から身につける「コミュニケーション教育」や個性の理解を深める人権教育を促進します。
- ○演劇を用いたワークショップ等の開催により、他者を理解する手段の普及を図ります。

等

イ　まちづくりや経済活動の中で多様な人々が生き生きと活動している

女性、高齢者、障がい者や外国人のまちづくりや就労等の社会参加を高め、誰もが普通にまちに出て、働き、暮らすまちづくりを進めます。

【４年間の事業例】
- ○女性や外国人市民の就労や社会活動への参加を支援します。特に子育て中の女性のために、一時預かり保育、病児・病後児保育、休日保育などの保育サービスを充実します。
- ○多様な雇用形態を推進します。
- ○障がい者の就労の場づくり（農福連携、超短時間労働等）や芸術活動など、潜在的な能力が生かせるよう支援します。
- ○高齢者の生きがい活動、就労や社会活動への参加を支援します。

等

主要手段４　多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている

具体的手段(2)　さまざまなつながりの中に、それぞれの役割が果たされている

人は、支え合いなしには生きていくことができません。そのことを私たちは、2004（平成 16）年の台風 23 号災害をはじめ、各地のさまざまな災害の中で家族やコミュニティのつながりの大切さを実感し、学んできました。

つながりの中には役割があります。役割は他者からの期待であり、その役割を果たすことによって自身の存在意義を確認できる重要な機能を果たします。

本市内では、食農・環境・防災教育などのいのちの教育や被災地支援などのほか、不登校や引きこもりのための「居場所づくり」が実践され、さまざまな活動を通して若者の役割が実感

■取組方針

すべての人々が自分の能力を生かして活躍する社会を実現するためには、様々な人や組織とのつながりが必要であり、人々の居場所づくりを進めていきます。

ア　つながりを創る人や多様な活動が増えている
イ　つながりを醸成する場が増えている

中竹野地区コミュニティの活動（流しそうめんによる交流）

できる場となっています。
　また、市内 29 の地域コミュニティ組織では、「自分たちの地区は自分たちで守る」ことを基本に、地域づくりや課題解決のために、地区内のさまざまな人々が役割を持ち、連携して取組みを行っていくことが期待されます。
　地区や図書館、文化芸術関連施設、市庁舎などのさまざまな場所において、障がいの有無、性別、年齢差、国籍の違い、価値観・文化・習慣の違いなどに関わらず、人々をつなぎ、居場所と出番を提供する仕組みや取組みを進めます。

ア　つながりを創る人や組織の活動が増えている

　多様な人々が地縁や国籍、特技や思想などを基に、いろいろな組織やコミュニティに参加できるよう「つながりづくり」を支援します。さらに、組織やコミュニティ活動の協働に発展させ、地域の活性化へとつなげます。

【４年間の事業例】
〇外国人市民や子育て中の女性なども参加できるゆるやかな組織化や運営を支援します。
〇組織やコミュニティの活動を促進する中間支援組織の運営を支援します。
〇地域づくりに関わる多様な人材の発掘とネットワークづくりを推進します。
〇芸術文化観光専門職大学や地域おこし協力隊の協働を促進します。
等

イ　つながりを醸成する場が増えている

　つながりができ、集う場ができれば、そこに役割が生まれます。さまざまなニーズに応じた居心地のよい場所が増えるように支援します。

【４年間の事業例】
〇子育てサークル、認知症カフェなどが市内各地に組織化されるよう支援し、市民とつながる機会・場所を増やします。
〇子育て世代、高齢者、外国人市民など多様な人々が気軽に集い、世代間交流や異文化交流できる場を増やします。
〇子ども食堂等の活動により、地域のつながりを醸成します。
等

主要手段４　多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている

目標値

具体的手段(1)　多様性がまちの原動力になっている

評価指標	現状値 (2020年度)	目標値 (2025年度)
地域コミュニティ組織における女性役員の割合	13.1%	30%以上
女性従業員の2/3以上が「働きやすくて働きがいがある」と評価している事業所数	11 事業所	30 事業所
外国籍市民の5年定住率	40.5%	45.0%

具体的手段(2)　さまざまなつながりの中に、それぞれの役割が果たされている

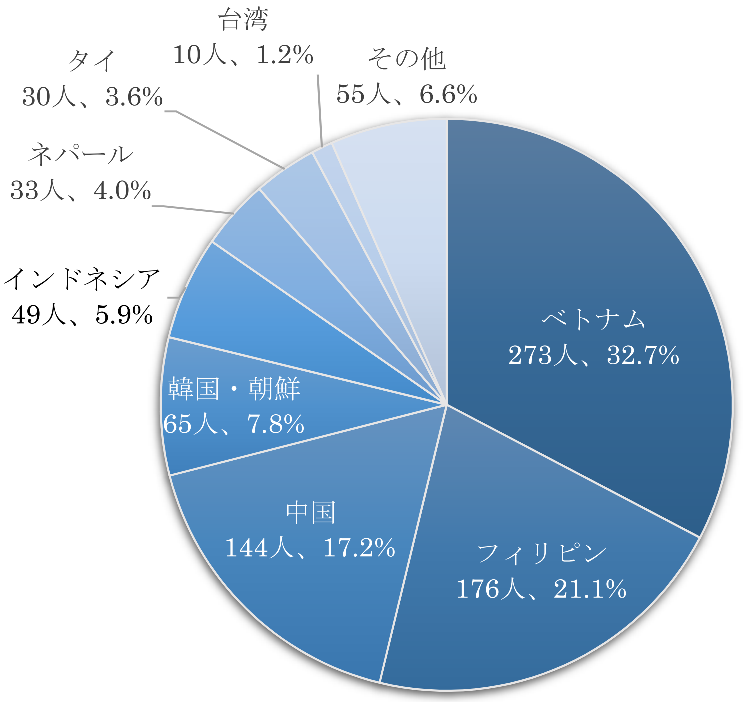
評価指標	現状値 (2020年度)	目標値 (2025年度)
外国人市民が地域の行事に参画している行政区数及び地域コミュニティの数	未計測 (2021 年度)	現状値の２倍

とよおか女性みらい塾

日本語教室で交流する子ども達

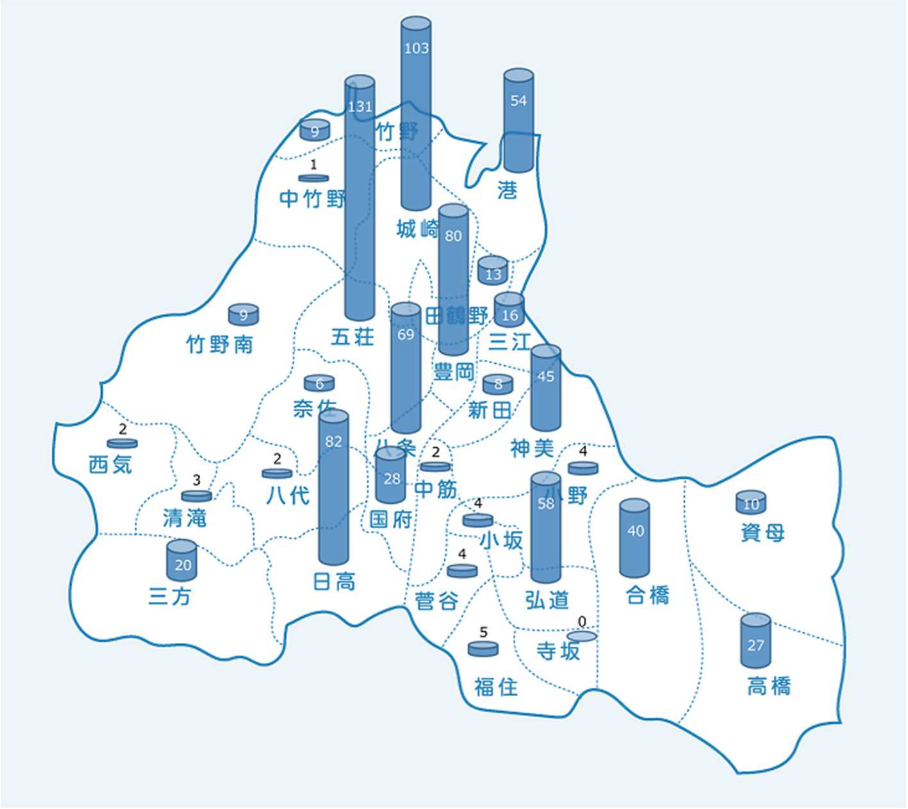
関連データ

■国籍・地域別外国籍市民（住民基本台帳：2020 年度末）



26 の国と地域、835 人

■地区別外国籍市民数（住民基本台帳：2020 年度末）　〔単位：人〕



主要手段５　内発型の地域産業がすくすくと育っている

具体的手段(１)　地域産業が切磋琢磨し、新たな道を切り拓いている

近年、地域経済を「庭」、地元の中小企業を「植物」に見立て、地域という土壌を生かして地元の中小企業を大切に育てることにより地域経済を活性化させる「地元企業が成長する環境づくり」が注目を集めています。

企業家精神に富んだ中小企業の活動が活発になることで、地域内の企業活動への相乗効果を生み出すことができます。

起業や既存産業の高度化などの挑戦を促すため、商工業団体、金融機関、行政などが協働して、市場や地域ビジネスに関する情報の提供、技術力の高度化支援、企業間ネットワークの構築支援

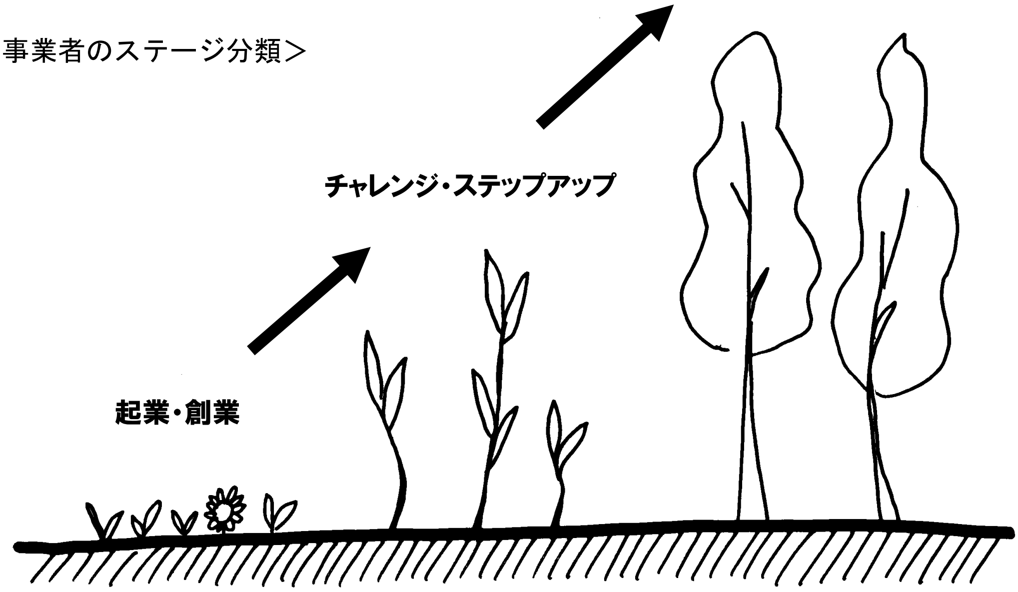
■取組方針

目まぐるしく変化する社会経済環境に対応しながら、地域に根付き、地域を形づくってきた内発型の産業を守っていかなければなりません。

市内産業・企業の基盤強化を図りつつ、新しい芽も積極的に育み、それぞれが今いる場所から着実に成長していける環境づくりを進めます。

ア　市内産業・企業の安定と強化が図られている
イ　果敢なチャレンジやステップアップにより、産業・企業が成長している
ウ　新たなビジネスモデルを展開する企業や、起業・創業する人が増えている

＜事業者のステージ分類＞



など、地域産業活性化のための環境整備を進めます。
特に、若者が失敗を恐れずに新たな事業に挑戦できる環境整備に努めます。

ア　市内産業・企業の安定と強化が図られている

市内産業・企業の事業活動の安定や強化、継続に向けた支援を行います。
また、人材確保に向け、新卒者等の採用や、働きやすい職場の環境づくりの促進を支援します。

【４年間の事業例】
- ○商工団体や専門家と連携して経営や労務に関する相談の場を設けるなど、中小企業の経営安定化を支援します。
- ○大学等の新卒予定者やＵＩターン希望者を対象に合同企業説明会を開催し、市内企業の人材確保を支援します。
- ○働きやすく、働きがいのある職場づくりを行う企業を支援します。
- ○事業を譲りたい人と継ぎたい人とをマッチングする機会をつくり、事業の承継を支援します。

等

イ　果敢なチャレンジやステップアップにより、産業・企業が成長している

企業の生産性向上や、世の中の変化に対応した新たな付加価値の創出による事業拡大等を支援します。また、ものづくり企業への技術的アドバイスや、ふるさと納税を活用した販路拡大等によって産業・企業の成長を促します。

【４年間の事業例】
- ○新技術、新サービスの導入による生産性の向上に向けた支援を行います。
- ○世の中の変化に対応した新たな付加価値創出による事業継続、拡大に向けた取組みを支援します。
- ○豊岡市ものづくり支援センターの相談体制を継続し、スマートものづくりセンター但馬との連携による産業支援体制を充実します。
- ○ふるさと納税返礼品に市内事業者の商品・サービスなどを積極的に採用し、販路拡大を支援します。

等

ウ　新たなビジネスモデルを展開する企業や、起業・創業する人が増えている

市内産業の活性化に向け、新たなビジネスモデルの展開や、起業・創業を支える環境を整備します。

【４年間の事業例】
- ○ビジネス相談窓口「ＩＰＰＯ　ＴＯＹＯＯＫＡ」による相談体制を充実し、誰もが新たな事業に挑戦できる環境づくりを進めます。
- ○創業支援補助金により、多様な創業、事業承継を支援します。
- ○クラウドファンディングの活用などにより、起業・創業を考えている人を支援します。
- ○ＩＴ事業者の誘致を推進し、市内で新たなビジネスモデルを展開する企業を支援します。

等

基本構想

主要手段５　内発型の地域産業がすくすくと育っている

具体的手段(2)　豊岡ブランドが構築されている

コウノトリ育む農法を実施してきた人たちのたゆみない努力により、2016（平成 28）年、コウノトリ育むお米が日本最大の食味鑑定コンクールで日本一に輝きました。コウノトリ育むお米は、ブランド米として、国内はもとより世界に販路が拡大されようとしています。

豊岡鞄も、かつて激しい価格競争の中で衰退の道を歩んできましたが、近年、豊岡ブランドの構築によって活力を取り戻しつつあります。グローバル化が進展し世界市場での競争がさらに激化する中で、企業のコスト削減努力は当然ですが、地方の中小企業にとっては、価格競争に身を委ねることは必ずしも得策ではありません。

市政経営方針

■取組方針

本市の基盤産業である「観光」「鞄」は、これまで長い時間を生き、長い時間をかけて築き上げられた地域固有の伝統産業です。豊岡の個性であるこれらの産業や、豊岡に拠点を置きながら、全国や世界で活躍する企業の魅力をさらに磨き、豊岡ブランドの確立を図ります。

ア　地域固有の産業の魅力が高まっている
イ　豊岡にいながら世界から評価される商品・技術・サービスを提供する企業が増えている
ウ　豊岡固有の産業や商品・技術・サービスが国内外に認知されている

豊岡鞄

コウノトリ育むお米

観光においても、地産地消の推進やサービス水準の向上を通じて高付加価値化を図り、収益力を強化する必要があります。

コウノトリという環境シンボルを持つ本市において、環境経済戦略も豊岡ブランド構築※1の可能性を秘めています。

市内産業の高付加価値化によってもたらされる利益を、まち全体で享受することができれば、本市で働くことの価値が上がり、優れた人材確保にもつながります。

企業や業界などと行政との対話を通じて、さまざまな分野で豊岡ブランドの確立を進めます。

※１：高付加価値の商品やサービスを生み出す市内企業を増やす体制を築くことを意味します。

ア　地域固有の産業の魅力が高まっている

豊岡の地域性を生かした観光産業、鞄産業、環境創造型農業等の持つ魅力を徹底的に磨き上げ、さらなる高付加価値化を進める取組みを支援します。

【４年間の事業例】

〇地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業の活用を促し、地域経済全体の高付加価値化を推進します。

〇〔観光〕来訪者に対するまちのコミュニケーション能力を高め、心地よい観光サービスを提供します。

〇〔鞄〕鞄の産地としての認知度を高めるため、ブランディングや新製品開発などの取組みを支援します。

〇〔農業〕コウノトリ育む農法を柱とした環境創造型農業に取り組む生産者を増やし、国内外へ積極的に情報発信します。

等

イ　豊岡にいながら世界から評価される商品･技術･サービスを提供する企業が増えている

豊岡に拠点を置く企業が、本市にいながら世界から評価される商品･技術･サービスなどの創出に挑戦できる環境を整えます。

【４年間の事業例】

〇地域経済に効果的な波及効果をもたらす先進的な企業の取組みを支援します。

〇新技術・新サービスの導入を支援します。

〇販路拡大に向けたマーケティングを支援します。

等

ウ　豊岡固有の産業や商品･技術･サービスが国内外に認知されている

あらゆる機会を捉えて、高付加価値な商品･サービスを生み出す豊岡の地域産業、企業の情報を国内外に発信し、｢豊岡ブランド｣の認知を広げます。

【４年間の事業例】

〇メディア、SNS を活用した情報発信などシティプロモーションを強化します。

〇「ふるさと教育」などを通して、豊岡の子どもたちに国内外で活躍する企業の活動を伝えます。

〇ふるさと納税返礼品に市内事業所の商品・サービスを積極的に採用し、認知度向上を図ります。

等

主要手段５　内発型の地域産業がすくすくと育っている

目標値

具体的手段（1）　地域産業が切磋琢磨し、新たな道を切り拓いている

評価指標	現状値 （2020年度）	目標値 （2025年度）
市内事業所の従業者数（経済センサス）	35,719 人 （2016 年）	35,000 人
市内事業所数（経済センサス）	5,478 事業所 （2019 年）	5,400 事業所
ビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」を通した起業件数	5 件	5 件
豊岡市ふるさと応援寄附金	864,753 千円	15 億円

具体的手段（2）　豊岡ブランドが構築されている

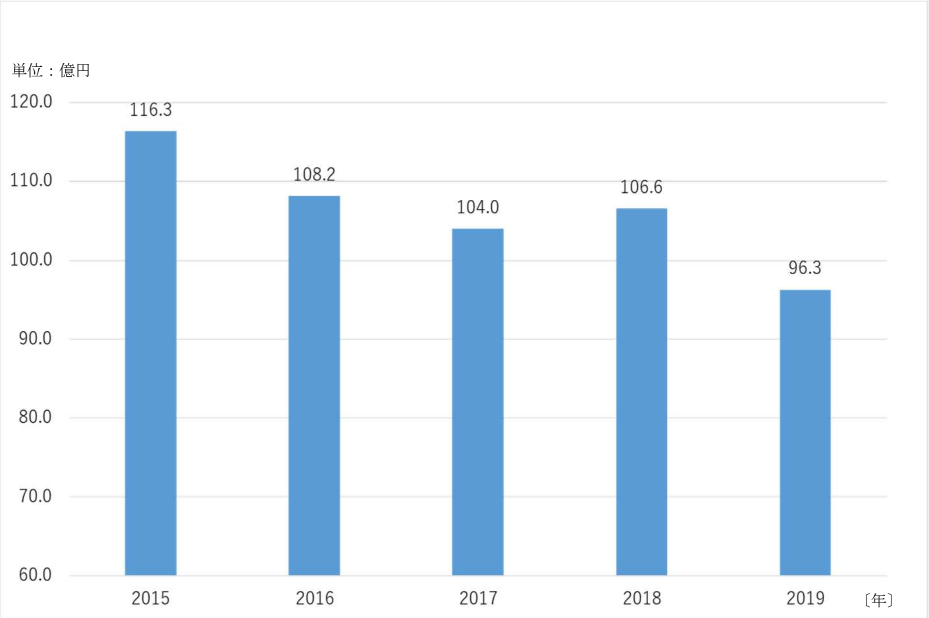
評価指標	現状値 （2020年度）	目標値 （2025年度）
外国人延べ宿泊者数	63,648 人 （2019 年）	87,800 人
日本人延べ宿泊者数	1,037 千人 （2019 年度）	1,115 千人
鞄製造品出荷額	96 億円 （2019 年）	106 億円
コウノトリ育む農法（無農薬）栽培面積	147ha	170ha

関連データ

■コウノトリ育む農法による水稲作付面積

資料：豊岡市農林水産課

■かばん出荷額の推移



資料：工業統計調査（経済産業省・2017 年～2020 年）及び経済センサス ‐ 活動調査（経済産業省・2016 年）

（注）かばん出荷額…日本標準産業分類　中分類　20　「なめし革・同製品・毛皮製造業」を指す

主要手段６　子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている

具体的手段(1)　子どもたちが豊岡のことをよく知っている

基本構想

「子どもの野生復帰大作戦」や「生きもの共生の日」の取組みを通して、豊かな自然体験をすることや豊かな発想や命を大切にする心、さらに“ふるさと豊岡を愛する気持ち”を育んできました。

さらに、自分の将来の生き方を考えるため、先進産業の職業人の講話を聞き、夢の実現を具体化していくキャリア学習などに取り組んでいます。

豊岡にも素晴らしい自然、歴史、伝統、産業などがあります。そのことを学び、楽しむことを通じて、子どもたちの本市への愛着と誇りを育む「ふるさと教育」に取り組んでいきます。

市政経営方針

■取組方針

子どもたちに普遍的な知識や法則ばかりを教えることに偏っては、子どもたちがローカル固有の知識や知恵を軽んじ、ひいてはローカルそのものを軽んじるようになって、東井義雄先生の言われる「村を捨てる学力」につながってしまいます。

豊岡の素晴らしい点を学び、普遍的知識を活用して地域を理解する体験を重ねることによって、「村を育てる学力」が身についていきます。

地域の価値に触れながら、広く世界を学び、経験し、その上で地域に貢献する人材の育成に努めます。

ア　学校園でのふるさと教育が充実している
イ　地域での遊びや体験を通じてふるさとへの愛着が増している

ア　学校園でのふるさと教育が充実している

ふるさと教育を通して、さまざまなふるさとの魅力を知ることができます。豊岡の生きもの、自然、文化、伝統、世界に誇る企業、名を遺した先人、また、それらのひと、もの、ことを通じて、関わりのある広い世界を知る取組みを進めます。

【４年間の事業例】
〇小中一貫教育によるふるさと教育を推進します。
等

イ　地域での遊びや体験を通じてふるさとへの愛着が増している

子どもたちが、ふるさとを実感し、記憶に焼きつけるため、地域コミュニティや関係団体と協力してさまざまな体験を提供します。それは、将来のあらゆる場面で、子どもたちを助けるアイデアに結びつきます。

【４年間の事業例】
〇地域の魅力を知る機会（まち歩きなど）をつくり、子どもと大人が交流する機会をつくります。
〇生きもの調査や自然観察会等を通じて、豊岡市の豊かな自然環境を学ぶ機会をつくります。
等

目標値

具体的手段(1)　子どもたちが豊岡のことをよく知っている

評価指標	現状値 (2020年度)	目標値 (2025年度)
ふるさと教育で勉強した豊岡のこと（コウノトリ・豊岡の産業や文化のこと）について詳しくなったと思っている児童・生徒の割合（小５・中２）	小学生 92.7% 中学生 88.3%	小学生 97.0% 中学生 93.0%

主要手段６　子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている

具体的手段(2)　子どもたちがさまざまなコミュニティの中で役割を果たしている

基本構想

但東中学校では、ふるさと豊岡の価値ある産業や文化、自然などについて学んだ成果を、修学旅行における東京アンテナショップの商業体験活動を通じて発信しています。

また、同地域内で行われている「イングリッシュ カフェ」は、英語で自分たちのふるさとを世界に伝えたいという地区の思いで、中学生や高校生が運営の中心的な役割を担い、遊びや日常生活の場面を通して、幼児や小学生に楽しく英語を学べる場をつくっています。

私たちは、地域のさまざまな機会を通して、子どもたちがかけがえのない存在として自らの存在意義を実感できる場 ーコミュニティーを持つことができるように、子どもたちがまちの中で

市政経営方針

■取組方針

役割は他者からの期待であり、他者からの期待は、人を支え、育てます。子どもたちも同様です。子どもたちが、今それぞれのやり方で家族や地域や人々の役に立つ経験をすることを通じて、子どもたちの人間的成長を促します。

ア　子どもたちの活躍の場やそれを支える人材が増えている

※　東京アンテナショップは、首都圏における情報発信拠点として一定の役割を果たしたことなどから、2020 年４月に運営を終了しています。

イングリッシュカフェ（但東町高橋地区）

さまざまな役割を持ち、責任を果たすことができる機会を提供していきます。

ア　子どもたちの活躍の場やそれを支える人材が増えている

子どもたちも、家族の一員として、また、地域の一員・担い手として役割を持ち、活躍できる場や機会を提供します。

また、子どもたちのやる気を支え育む人材を増やします。

【４年間の事業例】

〇地域の伝統・文化の継承を支援します。

〇市民総参加訓練、自主防災活動への参加を促進します。

〇非認知能力向上に取り組むため、はばたきメッセージによる啓発を行います。

等

目標値

具体的手段(2)　子どもたちがさまざまなコミュニティの中で役割を果たしている

評価指標	現状値 (2020年度)	目標値 (2025年度)
地域や社会を良くするために、何をすべきか考えることがある児童・生徒の割合（小６・中３）	小学生 61.6% 中学生 51.4%	小学生 66.0% 中学生 56.0%
今住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合（小６・中３）	小学生 90.1% 中学生 73.0%	小学生 95.0% 中学生 78.0%

基本構想

主要手段６　子どもたちが地域への愛着を育み、豊岡で世界と出会っている

具体的手段(3)　子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる

2017（平成 29）年度、本市は、すべての小中学校に外国語指導助手を配置し、小学１年生から英語の授業を始めました。保育園、幼稚園、認定こども園での英語遊び保育との連続性を持たせ、外国語指導助手と英語に親しむことを通じて英語を身につける機会をつくります。

また、自分たちで演劇を作り、演じることを通じて、表現力や合意形成能力を身につけ、相互理解ができる力を育てるため、「コミュニケーション教育」を進めます。

これらの取組みを通して、性別や年代などを超えた対等な関係の中で、自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成していきます。

市政経営方針

■取組方針

多様な人々との積極的な出会いを通じて、他者理解と自己理解を育み、子どもたちの成長を促します。

ア　子どもたちが多様な人々とコミュニケーションできる力を育んでいる

英語遊び保育

ア　子どもたちが多様な人々とコミュニケーションできる力を育んでいる

人と人との関りを通じて、自分の思いを伝える力や、他者の思いを理解できる力を育み、コミュニケーション能力を高めていきます。

また、コミュニケーションツールとしての英語教育を実践します。

【４年間の事業例】

〇英語遊び保育、ALT のサポートによる英語教育を推進します。

〇コウノトリ野生復帰で取材や視察に訪れる外国人と子どもたちとの交流を促進します。

〇学校訪問コンサート（おんぷの祭典）でさまざまな人と子どもたちとの交流を促進します。

〇すべての授業の中で目的に応じて話し合いや対話を取り入れるなど、コミュニケーション教育を充実します。

〇城崎国際アートセンター利用者と子どもたちとの交流を促進します。

〇豊岡に暮らしている外国人市民の文化、生活習慣を知る機会の充実を図ります。

等

目標値

具体的手段(3)　子どもたちが豊岡で外国人とのコミュニケーションを楽しんでいる

評価指標	現状値 (2020年度)	目標値 (2025年度)
中学校卒業時に英語検定３級以上相当の英語力を有すると思われる生徒の割合	57.7%	70%
外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う児童・生徒の割合（小６・中３）	小学生 73.4% 中学生 75.3%	小学生 78% 中学生 80%
話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思う児童・生徒の割合（小６・中３）	小学生 84.9% 中学生 85.6%	小学生 90% 中学生 90%

第４章　市民の暮らしを支える施策の体系・主要施策等

章	節	主要施策・主要事業	
Ⅰ	安全に安心して暮らせるまち		
	1	安全を守るまちづくり	
		⑴　防災・減災力の向上 ・河川の治水事業や山腹がけ地の土砂災害対策の推進 ・市民総参加訓練による地域防災力の強化 ・自主防災組織の育成支援 ・住宅の耐震改修促進、大規模建築物耐震化助成　等	**主要手段１関連**
		⑵　消防・救急体制の充実 ・ドクターヘリ、ドクターカー及び基幹病院との連携強化 ・住宅用火災警報器の設置の促進及び適正管理の啓発 ・高齢者住宅における出火防止対策の推進　等	
		⑶　安全な暮らしの構築 ・交通安全・防犯意識の啓発 ・消費生活センターの充実　等	
	2	安心しておだやかに暮らせるまちづくり	
		⑴　健康づくりの推進 ・健診の充実、健康づくり環境の整備、地域での健康づくり支援 ・高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施　等	
		⑵　医療環境の充実 ・地域医療の充実、救急等医療体制の充実　等	
		⑶　安心して暮らせる地域社会の構築 ・認知症高齢者見守りネットワークの整備、福祉サービスの提供 ・ひきこもり支援の充実 ・感染症対策　等	
		⑷　高齢者福祉の充実 ・在宅支援サービスの充実　等	**主要手段４関連**
		⑸　介護保険制度の充実 ・介護予防事業の推進、介護施設の整備・サービスの充実 ・民間老人福祉施設への助成　等	
		⑹　障がい者福祉の充実 ・自立支援の取組み、相談支援体制の充実　等	**主要手段４関連**
		⑺　社会保障の適正実施 ・各種医療費助成事業　等	
		⑻　斎場・霊苑の整備・適正管理 ・東霊苑区画の使用促進　等	
Ⅱ	人と自然が共生するまち		
	1	人と自然が響き合うまちづくり	
		⑴　コウノトリと共生する豊かな自然の保全・再生・創造 ・自然環境の保全、コウノトリの野生復帰事業　等	**主要手段１関連**
		⑵　コウノトリと共生する豊かな文化の保全・再生・創造 ・環境教育の推進、農村環境の整備　等	

章	節	主要施策・主要事業	
	2	循環型のまちづくり	
		⑴　循環型社会の構築 ・太陽光発電の推進、ごみの減量・再資源化 ・地球温暖化対策の推進　等	**主要手段１関連**
	3	快適で美しいまちづくり	
		⑴　美しい環境の確保 ・公害防止の活動、不法投棄の監視強化　等	
		⑵　水道・下水道の整備 ・飲料水の安定供給、良好な水環境と快適な暮らしの確保　等	
Ⅲ	持続可能な「力」を高めるまち		
	1	地域経済を元気にするまちづくり	
		⑴　情報発信戦略の推進 ・豊岡ファンミーティングの実施 ・豊岡演劇祭の協同開催　等	
		⑵　観光の振興 ・観光施設の整備 ・観光協会への支援、山陰海岸ジオパークの推進 ・観光ＤＸの推進　等	**主要手段２関連**
		⑶　農業の振興 ・コウノトリ育むお米の作付面積の拡大 ・国内外への販路拡大 ・農業スクールによる後継者育成 ・有害鳥獣対策 ・豊岡グッドローカル農業の普及・推進　等	**主要手段５関連**
		⑷　林業の振興 ・林道整備、間伐の推進、担い手支援　等	**主要手段５関連**
		⑸　水産業の振興 ・漁業施設の整備、稚魚の育成・放流事業　等	**主要手段５関連**
		⑹　商業の振興 ・空き店舗対策、中小企業融資制度　等	**主要手段５関連**
		⑺　工業の振興 ・企業誘致、「豊岡鞄」等のブランド支援 ・環境経済事業の認定、ものづくり産業の支援　等	**主要手段５関連**
		⑻　ＩＴ産業の振興 ・ＩＴ企業誘致の推進　等	**主要手段５関連**
		⑼　雇用対策の推進 ・職業紹介事業、職業訓練支援　等	**主要手段５関連**
	2	賑わいと魅力を創るまちづくり	
		⑴　総合的な土地利用 ・農道橋の耐震化・長寿命化の推進 ・地籍調査の推進　等	
		⑵　住環境の整備 ・市営住宅の維持管理 ・民間住宅の耐震改修支援、老朽危険空家対策　等	

章	節	主要施策・主要事業
		⑶　道路網の整備 ・高規格道路及び国県道の整備促進、市道の整備　等
		⑷　公共交通の充実 ・空港利用促進、イナカー・コバス・チクタクの運行　等
		⑸　魅力ある景観の形成 ・伝統的建造物群保存地区保存事業　等　**主要手段２関連**
		⑹　特色のある公園の整備 ・都市公園の維持管理　等
		⑺　地域情報化の推進 ・地域情報化推進事業　等
	３	活力を生むまちづくり
		⑴　定住促進 ・空き家物件紹介制度、空き家改修費助成、大学生向け就職イベント ・地域おこし協力隊制度の活用　等
		⑵　魅力ある地域の形成 ・過疎・辺地対策事業の推進　等　**主要手段２関連**
Ⅳ	未来を拓く人を育むまち	
	１	健やかで心豊かな子どもを育むまちづくり
		⑴　子育て環境の充実 ・母子健診・育児支援の充実 ・特定不妊治療助成の充実 ・保育サービスの充実 ・こどもの医療費助成の充実　等
		⑵　基礎となる力の定着と創造性を伸ばす教育の推進 ・就学前教育の充実、運動遊びの推進 ・小中一貫教育の推進 ・子どもたちの非認知能力の向上　等　**主要手段６関連**
		⑶　教育環境の充実 ・学校施設整備、ICT 教育環境の整備 ・外国人英語指導助手招致 ・不登校・子育てを支援する「こども支援センター」の運営 ・訪問型学習支援事業　等
		⑷　家庭・地域教育力の向上 ・学校・家庭・地域の連携　等
	２	伝統・文化を未来につなぐまちづくり
		⑴　ふるさとを愛する心の育成 ・ふるさと教育の推進、トライやるウィークの実施　等　**主要手段６関連**
		⑵　多文化共生の推進 ・国際交流事業 ・多文化共生推進事業　等　**主要手段４関連**

章	節	主要施策・主要事業	
Ⅴ	人生を楽しみお互いを支え合うまち		
	1	日々人生を楽しむまちづくり	
		⑴　生涯学習の推進 ・生涯学習活動の促進、人権教育の推進、図書館事業の充実　等	
		⑵　芸術文化の振興と文化財保護 ・新文化会館の整備 ・城崎国際アートセンターにおける舞台芸術活動支援 ・芸術文化観光専門職大学との連携 ・公演や公募展、顕彰事業の充実、文化財の保存活用　等	**主要手段３関連**
		⑶　生涯スポーツの推進 ・体育施設の活用、全国規模のスポーツ大会の誘致 ・スポーツツーリズムの推進　等	
		⑷　高齢者の社会参加・生きがいづくり ・高齢者の居場所づくり、生きがいづくりの推進　等	**主要手段４関連**
	2	お互いを支え合うまちづくり	
		⑴　地域力の向上 ・地域コミュニティ組織の活動支援　等	
Ⅵ	市政の運営		
	1	特色ある地域の成長と連携	
		⑴　豊岡地域、城崎地域、竹野地域、日高地域、出石地域、但東地域の取組み ・各振興局プロジェクトの推進 ・地域資源・産業の掘り起こし ・若者との意見交換　等	**主要手段１～主要手段６関連**
	2	参画と協働のまちづくり	
		⑴　市民・行政パートナーシップ ・地域コミュニティとの共創 ・豊岡スマートコミュニティの推進 ・演劇のまちづくりの推進　等	
		⑵　男女共同参画社会づくり ・啓発セミナーの実施、市事業での一時保育　等	**主要手段４関連**
	3	新しい時代にふさわしい行政経営	
		⑴　効率的・効果的な組織の行政組織の充実 ・組織改革、民間企業からの人材活用、職員の人材育成　等	
		⑵　行財政改革の推進 ・市民との共創 ・歳入確保の推進 ・歳出の効果的・効率的な実行 ・職員の意識・行動改革　等	
		⑶　周辺市町や関係自治体との連携 ・定住自立圏構想の推進（但馬３市２町） ・クリーンパーク北但運営事業の推進、近隣市町との連携　等	

章	節	主要施策・主要事業
		⑷　ＤＸ推進 ・市民目線での情報発信・手続き ・ＤＸ推進基盤の整備 ・職員のＤＸリテラシー向上　等

小さな世界都市
-Local & Global City-
TOYOOKA

策定　2021 年 12 月
発行　兵庫県豊岡市

〒668-8666　兵庫県豊岡市中央町 2-4
TEL0796-23-1111(代)　　FAX0796-24-5932
URL　http://www.city.toyooka.lg.jp
E-mail　info@city.toyooka.lg.jp